

# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 07 No. 2719

## 2020-2021年度国際ロータリーのテーマ

2020-2021年度R I 会長 ホルガー・クナーク

## 2020-2021年度R I 第2500地区テーマ

2020-2021年度R I 第2500地区ガバナー松田英郎

ランクアップしましょう



ロータリーは機会の扉を開く

## 2020-2021年度士別ロータリーのスローガン

新しい絆を築き新たな考動を！

- 会 長 / 志村 孝幸
- 副会長 / 菊地 昭通
- 幹 事 / 片庭 隆暁
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:00
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL0165-23-1234

R I ホームページ <https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

## 第2803回例会 2020年 8月31日(月)

### 今日のプログラム

・夜間例会

### 前回(8月24日)の記録

・普通例会

司 会 大野裕一郎 会場監督  
 齊 唱 奉仕の理想  
 本日の出席 会員 47人中 出席者 36人 出席率 76.59%  
 本日の欠席 伊藤優市・江端健之・加藤博・神田英一・國森和磨・近藤峯世・鈴木勉・日塔剛敏  
 前田孝幸・水田孝志・山下卓巳

メイクアップ  
 ビジター  
 ゲスト

ニコニコBOX 大江智宣 (ライオンズクラブ交流ゴルフコンペ個人優勝)

累計 80,000円

### 例会予定

#### ■ 9月例会日 [基本的教育と識字率向上月間 ・ロータリーの友月間]

- 9月 7日(月) 普通例会・理事会
- 9月15日(火) 夜間例会・ガバナー公式訪問
- 9月21日(月) 特別休会(法定休日:敬老の日)
- 9月28日(月) 普通例会

#### ■ 10月例会日 [経済と地域社会の発展月間 ・米山月間]

- 10月 5日(月) 普通例会・理事会
- 10月12日(月) 早朝例会
- 10月19日(月) 普通例会
- 10月26日(月) 夜間例会

■会務報告.....志村孝幸 会長

◆1905年2月にシカゴでロータリークラブが設立されてから115年です。

日本では、1920年10月に東京ロータリークラブが設立され、日本にロータリー活動がスタートして、本年で100年を迎えることになります。

日本のロータリー100周年実行委員会では様々な事業を計画しており、ひとつは100周年記念のゴング（鐘）を全国34地区に贈り、2018-2019年度から2019-2020年度のガバナーが100周年記念のゴング（鐘）をガバナー公式訪問に持参し各クラブの会長に点鐘をして頂き、会員の皆様と共に100周年を祝おうというものです。

士別では2018-2019年度に細川ガバナーに持参頂き佐藤元保会長が点鐘をなりました。

東京ロータリークラブはチャーターメンバ24名で発足し、現在は334名の会員が活動し、日本では34地区、2,250クラブ、約89,000人の会員が活動しています。

昨年度は100周年記念ピンバッジの作成。今年度は貴重な機会を祝うために、記念式典の開催の準備を進めておりますが、11月24日開催予定がコロナの影響で5月に延期するようです。

また、日本郵便株式会社に決定頂き記念切手が発行されます。この記念切手は、私達のロータリーの活動を日本の皆様にお伝えできるように、ロータリーが支援する6つの重点分野をデザイン化しており、日本のロータリーが独自に進める奉仕活動である「米山記念奨学会」も加えております。ロータリーの事をご存知ない多くの方にも目にして頂けるような、可愛いデザインで公共イメージ向上にも大きく寄与できるものと考えているということです。

発売日は、2020年9月18日です。興味のある方は購入をお願い致します。

■幹事報告.....片庭隆暁 幹事

1. 8月26日(水) 18:00よりクラブ協議会を開催致します。
2. 次週例会は、8月31日、夜間例会です。

■プログラム委員会.....奈良康弘 委員長

本日は、図書館の岡田館長に卓話をお願い致しました。次週は新入会員の小林会員に卓話をお願い致します。

■ゲスト卓話.....岡田英俊 様

皆さんこんにちは。市立士別図書館の岡田と申します。このたびはこのような貴重な機会と、お時間をいただき、ありがとうございます。

それでは、プロジェクトにて「ぜひ図書館へ」という内容で進めてまいります。



まずは、士別ロータリークラブ創立60周年、おめでとうございます。また、これまでロータリー文庫のご寄贈を頂きまして、ありがとうございます。

それでは、ロータリー文庫について少し触れたいと思います。昭和54年に子ども図書室の増築を記念し、550冊、700,000円相当を贈呈されたのが始まりで、その後14回にわたり、1,546冊、2,250,000円相当の贈呈をされ、子供達の読書活動の一翼を担っておられるところ。例年会長から教育長へ、贈呈される絵本を直接手渡していただいております。

これまでの「ロータリー文庫」のあゆみ

- 昭和54年に、子ども図書室増築オープン記念に、ロータリー文庫として贈呈550冊（700,000円相当）
- 以来14回にわたり、ロータリー文庫充実のためとして、延べ1,546冊、2,250,000円相当の圖書を贈呈し、幼児・児童の読書活動の発展の一翼を担っている。

ここで、そもそも図書館とはどういう施設なのかということですが、図書館法という法律の第2条に定義がありますが、端的に表現すると、「市民の皆さんが教養を深めたり、調べ物や趣味に利用する図書資料を集めて、整理保管し、利用できる施設」といった表現になると思います。

それでは皆さんは図書館を利用されていますか。かくいう自分も3年前に図書館への異動の内示を受けたときに、北びびきさんと同じ建物に図書館があるというところまでは知っていましたが、詳細な場所は知りませんでした。

では、図書館の利用状況について触れたいと思います。

平成11年から昨年までのデータですが、平成16年に現図書館

が設置されて以来3万人を超える利用がありました。その後平成22年には朝日図書室を士別分館としたことと通年開館に

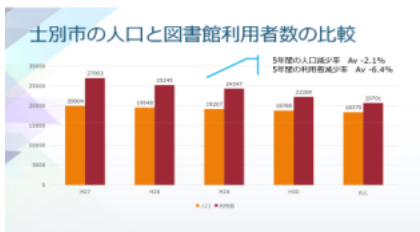


より、35,000人を超えピークと達した以降、利用が右肩下がりとなってしまいました。

では貸出冊数のほうはというと、こちらも平成17年以降、平成22年をピークに減少の一途を辿っています。この理由について検証してみたのですが、はっきりした理由はわかっていません。

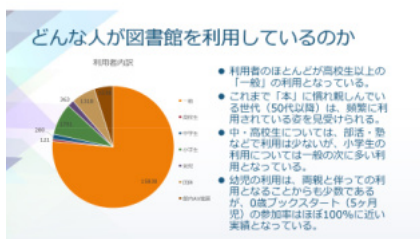
そこで、士別市の人口と利用者数の比較を試みました、平成27年からの5年間のデータですが、いずれも減少傾向となっております。人口の平均減少率はマイナス2.1%、利用者の平均減少率はマイナス6.4%と3倍強の減少率となっていることが判

明してしまいました。ただ、利用者が人口よりも多少多いというのが数字上の唯一の救いかなと思っています。



明してしまいました。ただ、利用者が人口よりも多少多いというのが数字上の唯一の救いかなと思っています。それではどのような方が利用されているのかということですが、この円グラフのオレンジの部分「一般」の利用が4分の3を占めています。高校生以上の利用者を一般としています。本に慣れ親しんでいる世代であろう50歳以上の利用者が頻りに利用されているのを見かけます。いわゆる常連さんです。

一方で、中・高校生の利用が少なく、部活や塾などによる影響と思われる。小学生については、一般に次ぐ利用数となっています。



幼児については、親御さんと一緒に無ければ利用できないこともあり、多くはありませんが、0歳ブックスタート、平成14年から5ヶ月児の赤ちゃんに、絵本3冊を贈呈し、絵本を通じて親子のスキンシップをとれることによる子育て支援と読書活動の誘いの事業として継続実施していますが、こちらの案内をした赤ちゃんの参加率は、ほぼ100パーセントとなっていることから、幼児の利用についても一定の利用があり、小学生以降の利用につながっているものと思われます。

では、図書館ではどんなことを行っているのかと、本の貸し出しだけではありません。図書館イベントでは、一例として毎年4月下旬から5月上旬にかけて子ども読書週間という全国的な取組があります。我が図書館としても

「としょかんクイズ」や「こどもわくわく広場」というイベントを実施し、子供達に図書館に来てもらうきっかけ作りを行っています。地階スペースで、

工作や紙芝居の読み聞かせなどを行っています。

読書通帳といって、自分が読んだ

本を銀行の通帳のように日付とタイトルなどを書き込んで、自らの読書の履歴を作る取組があります。小学生以下の子供達には、30冊を読むと通帳1冊が一杯になって、色鉛筆とメモのセットのプレゼントと好きな衣装を着て記念撮影が出来るという特典があります。また、この衣装はカウンターの女子職員の手作りの衣装で、今年も3着の新作をあつらえたようです。

次が、「こわいおはなし会」という夏のイベントで、絵本の読み聞かせサークル「しべつ鳩の会」さんとの共催での事業です。このようにプチお化け屋敷を作ってその中でこわい話の絵本や紙芝居をするという内容です。

また、季節や時事に応じた本の展示や、証明書発行や市税納付の取扱いなどの市民サービスも取り扱っています。

1階カウンター前の展示では、この時期ですので、戦争と平和についての展示、2階の児童図書室内では七夕に関する展示をしており、毎月2回こういった展示をしています。利用者が調べたいことや本に関する回答をレファレンスといいますが、必要な本を用意したり、一緒に調べてあげたりなど、利用者の求めていることに細かく丁寧に対応をしています。

次に今後の図書館について少し考えてみました。近年のIT化の発達によって読書離れは年々進んでいます。特に中・高校生はその傾向が多くみられ、対応として中・高校生をターゲットとした図書の充実、ヤングアダルトの整備と、興味を引く展示により中・高校生の利用を促進しています。

続いて、電子書籍については、全回で89自治体・86館の導入で、5%程度の普及率にとどまっています。ちなみに道内では、札幌市、苫小牧市、北見市、天塩町の4館が電子図書館を設置しています。なぜかという、導入にかかる費用が一番のネックとなっています。また、電子書籍数が紙の書籍との比較ではまだ全体の1割程度にとどまっており、書籍を電子化する場合



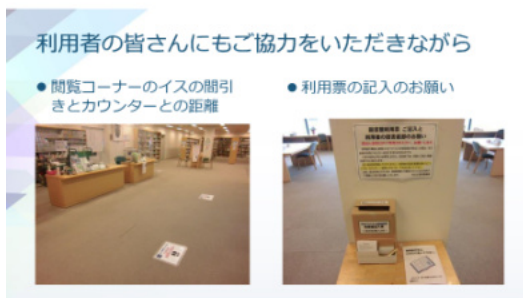


著作権の問題もあります。

次に、現在図書館ではどのようなコロナ対策をしているのかということです。まずカウンターにビニールシートを設置し、職員はマスク着用を徹底しています。返却された本と、利用者に本を貸出しする際には、一番触れる機会の多い表紙を専用の消毒剤で消毒をしたうえで貸出をしています。

今は表紙だけの消毒ですが、図書消毒器を利用すれば、本の中の部分も消毒ができるので、今後導入を計画しています。

また、利用者の皆さんにもご協力をいただいております。閲覧コーナーの座席数を半分にして、利用者同士の距離を保つようにしています。また、カウンター前で貸し出し返却時に距離を取ってお待ちいただいております。



図書館は本を読んだり調べ物をしたり勉強したりそういう機会がなければ利用することがない施設かもしれませんが、図書館にしかない雰囲気や時間がありますので、ぜひ一度体験していただければと思います。また、土別市の図書館はほかの図書館とは違って、子供たちが楽しそうに遊んでいる声や、姿を見ながらといった、静寂がない図書館です。

それがかえって落ち着けるというか、普段家でくつろいでいるかのような雰囲気にも感じます。ぜひお越しいただきたいと思います。そして、通年開館している施設ですので、ぜひ有効活用いただければと思います。

では、少しだけ館内の案内をさせていただきます

ます。1階カウンター横には新着図書が並んでいます。ここに並んでいる本は図書館の本の中で一番新しく、話題の本ですので、迷ったらこの本を読んでいただければと思います。閲覧コーナーの方に進むと雑誌コーナーがあります。婦人雑誌や歴史、じゃらんもありますし、週刊誌や皆さん愛読されておられる方も多いと思いますが、経済誌もあります。但し最新号は貸出できないので、館内での閲覧のみとなります。新聞も10紙あります。このように住宅地図もありますので、営業先でわからない住宅を探す際には重宝すると思います。自分の読みたい本が探せないときは、カウンターの職員に聞いてください。レファレンスによりご案内します。インターネットコーナーでネットサーフィンしたり、フリーWi-Fiもあります。

血圧を測ってみたり、市民の声を投稿してみたり、また、図書館入り口付近には広報しべつやごみカレンダーや市内イベントの案内、土別市外の情報のパンフレットもおいてますので、ご覧ください。

これからも皆さんのお力添えをいただきながら、皆さんに愛され重宝いただける図書館となれるよう頑張りたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

